

訪問



富士見中における 理科教育実践研究



「科学する心」を育てるために子どもたちが「のめり込む授業」をつくるには・・・

今回の講座はオンライン開催で、2名の受講生が参加しました。

理科の「問い」はどこにあるのかについて、子どもの考えのズレ・矛盾を活かした授業の在り方について教えていただきました。理科は「科学する心」の滋養が大切で、子どもがのめり込む授業のために、問いが大切であり、そのための問いの作り方を学びました。受講生のために50ページに及ぶ資料を作っていただいてあり、実践者としての名取先生の神髄を学べる道場でした。